

## 落合池の生態調査

神戸市立須磨翔風高等学校

畠山 輝      伊藤 由翔

### 1. はじめに、研究背景

落合池の季節ごとに変わる野鳥や木々などの自然溢れる景色を見て、この落合池を名谷のシンボルのひとつにできないかと考えた

### 2. 目的 落合池及びその周辺の環境・生態調査 地域への広報活動

### 3. 方法

#### A. 志染川の地層観察

落合池は神戸層群に属しており、落合池には珪化木もある  
同じ神戸層群である志染川の露頭を調査する

#### B. 落合池の観察

約一ヶ月おきに同じ場所から落合池の写真を撮り、それを比べて変化を見る

#### C. ドローンの操作の練習

落合池を上空から撮影する為に利用する  
毎週木曜日学校の学校の中庭で練習をする

#### D. 神戸市建設局西武建設事務所への訪問

落合池の中に入る許可と情報収集

#### E. 落合中央公園と落合池の探索

落合池やその周辺を google フォトなどで周りの植物の種類を特定して観察する

### 4. 結果

#### A. 志染川の地層観察 7月28日

志染川の地層を観察しようと思った先にはコンクリートや草に覆われた場所があった。その場所から川に沿って歩いていくと露頭が見えてきてしっかりとその目で見ることが出来た。しかし露頭は川の向こう側にあり、行くのが困難だったため間近での露頭の観察とその地層に発は出来なかった。





志染川露頭 対岸より撮影

B. 1ヶ月ごとの落合池の観察

✓ 季節ごとの落合池の変化 <左上5月・右上7月・左下10月・右下1月>



落合中央公園周辺の動植物

番号は地図の場所を表す



①ネムの木の花 6月



②キジバトの巣 8月



③カタツムリ 9月



④アライグマ 8月



落合中央公園の地図 ⑤探索経路

### C. ドローンを利用した観察

- ✓ 毎週木曜日にドローンの練習をしてある程度動かせるようになった  
高校にあったドローンの問題点
    - 風に対して弱い
    - カメラがコントロールできない
    - 池で落下した場合回収できない
    - ドローンが登録できていない
- 新たなドローン購入ができず、ドローンでの観察は断念した



ドローン練習風景

教室内で始めた



#### D. 神戸市建設局西武建設事務所への訪問

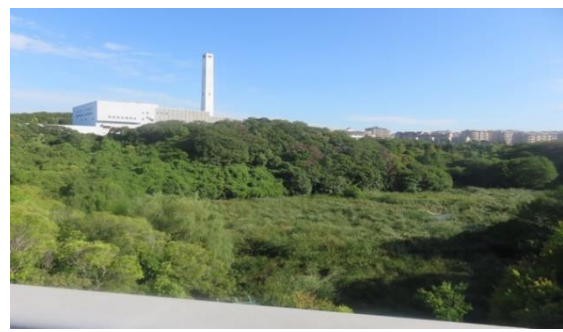
- ✓ 訪問により落合池の大まかな地質や歴史、現在の大体の状態を把握
- ✓ 落合池とその周辺の地図を入手、公園内での注意点など
- ✓ 落合池の中の敷地に入るための方法、落合池のボランティア団体を教えてもらった

#### E. 落合中央公園から落合池の散策

落合池を近くで見るために落合中央公園の中の道無き道を進んだ。事故を起こさないように長いロープを持っていったので、より調査の雰囲気を感じた。スズメバチが出てくるかどうか警戒しながら進むのはなかなか怖かった。そうして池の水面が見られるところまで来て、間近で落合池にいる鳥を見て落合池の良さを実感した。



池の水面



外観

#### 5. 考察

神戸群層の中にある落合池で化石の観察が出来るのではないかとということで志染川に行った。志染川には露頭があったが川に阻まれて直接地層を見ることができなかった。落合池では、西武建設事務所に入場許可を取り安全な観察ルートさえ取れば観察できるのではないか。

落合池の観察では、何よりもアライグマを観察することが出来たこと、ネムノキの花が綺麗だったこと、そして珪化木が放置されるが如く置いてあったこと、雨の翌朝、桜の木にカタツムリがたくさん出ていた、落合池の水面に水鳥が生息しているのを間近で見たこと。落合池には驚くほど感動する自然がいっぱいあった。

この落合池を観察するには、ドローンは必要不可欠であろう。高性能のドローンの必要性を感じた。

神戸市建設局西武建設事務所では、多くのことを教えていただいた。公園内に入る許可申請、近くで化石の見られる場所、池の探索での注意点などとても役立った。

今回の調査で、落合池の生態観察については多くの発見があり、落合池の魅力を感じることが出来た。一方でもう一つの目的である地域への広報活動については全くの手付かずである。この報告書がその役割を果たしてくれれば幸いである。

今回この機会を与えていただいたことに感謝します。